

**子どもたちのために
大人ができること**
令和5年度胆振教育講演会

11月7日、市民会館を会場に『令和5年度胆振教育講演会』が開催されました。現在は信州大学特任教授、ニューヨーク州弁護士を務め、テレビの情報番組などでコメンテーターとしても活躍する山口真由さんを講師に『アフターコロナの日本』日本に問われる世界基準の波』の演題で開かれた本講演会に、当日は約500人が参加。講演では、自身の豊富な経験や、欧米の先進的な取り組みなどを例に『日本の未来を担う子どもたちのために大人ができること』について語り、参加者からは「有意義な時間だった」などの声が寄せられました。



▲PCB処理について学ぶ参加者

**隣町の魅力を再発見
三市合同施設見学会**

11月7日、登別・室蘭・伊達の三市の市民を対象とした『三市合同施設見学会』が行われ、登別14人、室蘭22人、伊達11人の計47人が参加し、室蘭市内の工場を見学しました。

本見学会は、隣町の理解と市民交流を深めることを目的に、三市持ち回りで毎年開催。今年は室蘭市主催で開催し、参加者は人体に有害なPCB廃棄物を安全に処理する『北海道PCB処理事業所』で処理工程を見学したほか、日本の製鉄業の要を担う日本製鉄(株)の『北日本製鉄所室蘭地区』で製鉄について学びを深めました。

11月7日



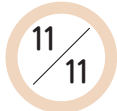
▲男女平等や多様性について語る山口さん

**故郷を東京にありて思う会
第35回東京登別げんきかい
総会・懇親会**

11月11日、東京都内の会場にて、ふるさと会『東京登別げんきかい』の総会と懇親会が、同会主催で開催されました。

平成元年、登別市にゆかりのある関東圏在住の人々が構成され、長きにわたり本市の情報を東京圏で発信し続けてきた同会。今回参加した約70人は、懐かしい顔達との再会を果たし、旧交を温めた後、登別産品などの抽選会で盛り上がりました。

楽しい会のフィナーレは毎回恒例の『鬼踊り』。耳慣れた祭囃子が会場に流れ、参加者が心を一つに踊り出すと、会場はこの日一番の歓声に包まれました。



▲マツカワカレーをさばく生徒の様子

**地元水産物の
『マツカワカレー』をPR
調理実習**

11月9日・10日の2日間、北海道登別明日中等教育学校の5年生(高校2年生)2クラスを対象に、地元水産物の『マツカワカレー』を使った調理実習が行われました。

胆振太平洋海域漁業振興協議会の『王鰈(マツカワカレー) 販路開拓・拡大事業』として、生徒が自分たちで調理し食べることと地元水産物の『マツカワカレー』のPRにつながることを目的に行われ、2日間で合わせて63人の生徒が参加。

生徒たちは、慣れない調理に戸惑いながら、マツカワカレーの唐揚げなど数品の料理を作り、最後はおいしく食べていました。



▲ふるさと登別に想いを馳せつつ、心を一つに『鬼踊り』